

没後 50 年

江戸川乱歩

2015年1月17日(土)～2月19日(木)

2014年は江戸川乱歩生誕120年の年でした。

そして、今年2015年は没後50年の年となります。

今回は、名古屋にもゆかりの深い江戸川乱歩の著作や研究書を展示いたします。

江戸川乱歩（本名・平井太郎）は、明治28年（1894）三重県名張市で生まれました。父の転職に伴い、3歳で名古屋市園井町に転居したのち、名古屋市立白川尋常小学校、名古屋市立第三高等小学校、愛知県立第五中学校（現・瑞陵高等学校）を卒業しました。多感な時期を名古屋で過ごしたと言えるでしょう。

大正12年（1923）29歳の時に「二銭銅貨」を雑誌『新青年』に掲載されてデビューしました。デビューに際して名古屋在住の小説家・小酒井不木の後押しがあったと言われています。

『幽鬼の塔』や『猟奇の果』『石榴』など名古屋を舞台にした作品もあります。

また、乱歩のスクラップブック『貼雑年譜<復刻版>』（はりませねんぷ）も展示いたします。

だが、ぼくの目をごまかすことはできない。

きみだ！きみが二十面相だ！

『少年探偵団』江戸川乱歩 ポプラ社 2005

十年程前の春、中學の三年生であった私は名古屋の鶴舞公園の芝原に寝轉んで、うらうらと暖かい陽を
あびながら、ノートに論文を書いてみた。
『人類史の一飛び』江戸川乱歩全集一〇〇

平凡社 1931

ところが諸君、その時、江戸川さんが便所に捨てた小説というのが、後に乱歩ファンを驚喜せしめた「押絵と旅する男」なのだから…

『探偵小説五十年』横溝正史 講談社 1977

この印刷物は古紙パルプを含む再生紙を使用しています

【参考資料】

- 『乱歩と名古屋』 小松史生子 風媒社 2007年
『東海の異人・奇人列伝』 小松史生子 風媒社 2013年
『大乱歩展』 県立神奈川近代文学館 2009年
『新文芸読本 江戸川乱歩』 河出書房新社 1992年
『江戸川乱歩アルバム』 河出書房新社 1994年
『不子語の夢 江戸川乱歩小酒井不木往復書簡集』 皓星社 2004年
『探偵小説五十年』 横溝正史 講談社 1972年
『江戸川乱歩日本探偵小説事典』 河出書房新社 1996年

- 『瑞陵会報 2014』 「瑞陵と江戸川乱歩」 三品耕作 2014年
『読売新聞 2014年12月14日 よみほっと日曜版』
名言巡礼 江戸川乱歩「押絵と旅する男」(1929年)
『中日新聞 2013年4月26日 夕刊』 東海の文学風土記 16

『少年探偵シリーズ』は児童コーナーにあります。

『春陽文庫 江戸川乱歩文庫』などは1階小説コーナーにあります。

書庫に所蔵している全集や資料もあります。

どうぞお気軽におたずねください。